

とうごうトレンド

「今、この人に会いたい！」

今、東郷町でキラリと輝いている人にフィーチャー！

「競歩なら高いレベルを狙える」
自分を信じて取り組み、全国大会に出場」

豊明高等学校3年生

なが やま たい し
永山 大志さん



トラックや道路上で決められた距離を歩く速さを競う陸上競技・競歩。フォームを維持しながら歩く必要があり、タイムだけでなくルールとの戦いでもあります。ストイックな競歩で、インターハイ出場を果たした永山大志さんを取材しました。

一度は離れた競歩に戻り
全国大会の切符を手にした

今年8月に北海道で行われた、全国高等学校総合体育大会の陸上競技で競歩の種目に出場

した永山大志さん。「予選を勝ち抜き、目標の決勝に出場して、5000m W 22分06秒40のタイムで完全燃焼しました」
陸上部に入部した当初は、駅伝の選手を目指していたそう。「鍛えられた体幹が競歩に向いている」と顧問の先生に誘われているに挑戦しますが、「やはり駅伝がやりたい」と転向。しかし成績が残せませんでした。
転機は2年生の時。「先生から『君は競歩なら東海大会も狙える』と言われ、得意なことに目を向けようと決めました」。再び競歩を始め、運が開けます。
**自分と向き合うのが面白さ
これからも競歩に打ち込む**
東海大会では、自己ベストタイムを1年ぶりに1分近く更新して入賞し、全国大会へ。「このレースでは歩くことだけに集中できて、全く邪念がありませんでした」と振り返ります。
「スピードを出して歩きながら自分と向き合い、ライバルや審判と駆け引きをする競歩を、進学生でも追求していきたいです」

私の元気のモト

北海道の祖母が毎年漬けて送ってくれる梅干しです。毎日のおにぎりの具で、食べると気が入ります！北海道の全国大会は、祖母にも見に来てもらうことができました。



PROFILE ▶▶▶ **なが やま たい し 永山 大志**

小学生の頃に水泳を経験。春木中学校でボート部に入部し、トレーニングで駅伝に出場して走ることに楽しさに開眼。豊明高校に進学し、陸上部の顧問の嘉賀正泰先生に誘われて競歩の道へ。